

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年問題協議会						整理番号	371	枝番号						
担当部課名		保健福祉部子育て支援課		コード	092713		連絡先電話番号	1362		昨年度整理番号	384	昨年度枝番号				
係名				管理係				上位施策名		No						
予算事業名				子ども子育てまちづくりの推進		コード	39500		子どもの育成環境の整備		28					
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		30年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内外の青少年育成関係の官公署、区内団体の代表及び個人		根拠法令等		(1) 地方青少年問題協議会法 (2) 杉並区青少年問題協議会条例 (3) 杉並区青少年問題協議会要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区の附属機関で、区長が会長となり青少年の指導、育成、保護、矯正等健全育成に関し審議する。 委員数 22人 専門委員会 7人				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		審議をもとに青少年の健全な育成を図る。							
	活動指標名(式)		(1) 開催回数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)区内非行件数 (2)							
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		回	3		3		3		5		4	5	5	80.0	
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		件	405				366		345		307	280	220	139.5	
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	553		724		846		1,213		1,140	1,459	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0		0		0		0		0	0			
	(内) 委託費		千円	0		0		0		0		0	0			
	職員数 (常勤 非常勤)		人	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	子ども・子育て行動計画の進捗状況の把握・評価を行うため、青少年問題協議会の中に「子ども子育て専門委員会」を設置した。
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,820		1,812		1,812		2,718		2,718	2,718		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0	0		
	総事業費 ++		千円	2,373		2,536		2,658		3,931		3,858	4,177			
	単位あたりコスト(-)÷		円	791,000		845,333		886,000		786,200		964,500	835,400			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0	0		
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,373		2,536		2,658		3,931		3,858	4,177				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内容		規模		単位	事業費(千円)									
		青少年問題協議会		3		回	408									
		子ども子育て専門委員会		1		回	54									
		その他 (運営事務費)					678									

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 371 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	80.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	94.0
		専門委員会の開催回数が1回少なかったため、報酬に残が出た。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		委員会の開催の方法を工夫し、委員の討議の時間を増やし、議題について掘り下げた検討を行い、会議を有効なものとした。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和30年に杉並区の附属機関として青少年問題協議会を設置した。ここ数年は、犯罪の低年齢化、凶悪化の傾向にあり、青少年の健全育成の取り組みは引き続き必要である。また、専門委員会で、子ども子育て行動計画の進捗状況の把握・評価を行う新たな役割を担って				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	青少年の飲酒喫煙等の非行行為の防止や、虐待予防など課題が多くあり、青少年問題協議会に期待が寄せられている。				
	今後の予測	情報化の進展と共に、インターネットや携帯電話をつかった新たな犯罪の増加や犯罪の低年齢化が進むなど、青少年の健全育成のためのさらなる対応が必要となってくる。また、子ども子育て行動計画の進捗状況の把握・評価を行う専門委員会の役割が重要性を増すことになる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 青少年の指導、育成、保護などについて様々な立場から子どもたちの現状を報告し、審議することにより、地域全体で青少年の健全育成を図っている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 効率的な検討を行うため、小委員会や専門委員会で討議を行うなど、審議の方法を工夫する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 附属機関の運営であり、受益者負担はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: コストのほとんどは委員への報酬である。他の類似の附属機関に比べても妥当である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 地域で青少年の指導、育成、保護などの活動を行っている青少年育成委員会の委員や民生児童委員、PTA会長、町会など様々な立場から子どもたちの現状を報告し、審議することにより、地域全体で青少年の健全育成についての協議が行われ成果をあげている。今後の課題としては、討議された内容を実現するための具体的手段が乏しい点に工夫が求められる。				
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 青少年をめぐる問題は多岐にわたっているが、審議の方法を工夫することなどにより、会議をより有効なものにする。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年表彰				整理番号	372		枝番号				
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092713	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	385	昨年度枝番号		
係名					青少年係			上位施策名		No			
予算事業名					青少年育成			子どもの育成環境の整備		28			
事業開始年度		● 昭和 ○ 平成		29 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード	
事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区青少年表彰要領								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		善い行いをした区内在住、在勤、在学の25歳未満の青少年、及び主にそれらで構成された団体		(2)								
	活動指標名(式)		(1) 表彰者数		(3)								
	成果指標名(式)		(1) 表彰者数		(1) 杉並区青少年表彰要領								
事業の種別		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		善い行いをした青少年の推薦を受け、表彰審査委員会で審査決定をした後、表彰をする。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		善い行いをした青少年及び主にそれらで構成された団体を表彰して区内全体に善意の行為の気運を盛り上げる。					
活動指標名(式)		(1) 表彰者数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代) 区内非行件数					
(2)						(2)							

区分	単位	16年度実績	17年度				18年度				19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
			計画		実績		計画		実績						
指標	活動指標(1)	人・団体	18		100		44		100		47		100		
	活動指標(2)														
	成果指標(1)	件	411				366		345		307		291		
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費	千円	358		364		199		319		270		558	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成18年度までの実施状況を踏まえ、被表彰者数の増加させるため、平成20年度から表彰式を年2回開催することになった。また19年度は募集事務を2回行う。	
	(内) 投資的経費等	千円	0		0		0		0		0		0		
	(内) 委託費	千円	0		0		0		0		0		0		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.20	0.00	0.20	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.47	0.00	0.50		0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,820		1,812		906		906		4,258			4,530
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0			0
	総事業費 + +	千円	2,178		2,176		1,105		1,225		4,528		5,088		
	単位あたりコスト(-)÷	円	121,000		21,760		25,114		12,250		96,340		50,880		
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0		0			0
		国・都等からの支出金	千円	0		0		0		0		0			0
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0		
差引: 一般財源 -		千円	2,178		2,176		1,105		1,225		4,528		5,088		
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			

18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		表彰式の実施	1	回	270
	その他 ()			0	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 372 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	47.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	84.6
		被表彰者数が予定数より少なかったため。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	青少年の学校内外におけるボランティア活動などが、豊かな人間性、社会性を養うため必要であるとの認識が高まっている。また、平成18年度より都立高校で奉仕の時間が授業に取り入れられた。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	推薦対象の行為などを、より具体的に示して欲しいとの要望があった。				
	今後の予測	青少年が社会に参画し、相互に支えあうような社会を目指すための奉仕活動等が活発になり、善行表彰の意義が高まっていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:善行の表彰を広く社会に知らせることにより、善意の気運が高まり、子どもが健やかに成長する環境づくりにつながる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:募集事務及び表彰式を年2回とし、善行行為後速やかに推薦・表彰ができるようにする。(平成19年度から募集事務年2回、平成20年度から表彰式年2回)				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:区が表彰するものであり、受益者負担にならない。				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:予算額は事業実施のための最低限の費用である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成19年度から募集事務を年2回、平成20年度から表彰式年2回実施し、善行行為後速やかに推薦・表彰ができるようにする。	
20年度方針	(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・表彰するためには氏名や住所など個人を特定する必要があるが、善い行いをした人や、その行為の実証が困難な場合がある。 ・表彰辞退者がいる。	
	(1)20年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由 表彰式の実施が年2回になるため。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		成人祝賀		整理番号	373	枝番号						
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092713	連絡先電話番号	4402					
係名		青少年係		上位施策名			No					
予算事業名		青少年育成		コード	39550	子どもの育成環境の整備	28					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		25 年度							
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 政策番号 施策番号 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 該当年度に20歳を迎える区民		根拠法令等							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		「成人祝賀のつどい」を企画・運営する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 新成人が、社会の一員としての自覚を持ち、社会人として自らの力を発揮する。							
	活動指標名(式)		(1) 出席者数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)出席者数/対象者数 (2)							
指標	活動指標(1)		人	2,518	2,518	2,475	2,475	2,518	2,413			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	44.0	43.7	46.0	46.0	43.6	46.4			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,788	7,011	6,535	7,577	5,896	7,389	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	3,192	3,560	3,246	4,061	3,511	4,100			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.70 0.00	0.70 0.00	0.65 0.00	0.50 0.10	0.59 0.00	0.50 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,370	6,342	5,889	4,530	5,345	4,530		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	283	0	0		
	総事業費 + +		千円	13,158	13,353	12,424	12,390	11,241	11,919			
	単位あたりコスト(-)÷		円	5,226	5,303	5,020	5,006	4,464	4,939			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	13,158	13,353	12,424	12,390	11,241	11,919				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			成人祝賀のつどいの実施					1	回	5,896		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 373 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	101.7	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	77.8
	予算時の想定より、イベント業者の使用した機材等が少なかったため、機材借り上げに係る賃借料があまる結果となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	成人祝賀のつどいの対象者は、減少の傾向にある。 対象者数 H5 9,705人 H10 7,589人 H15 6,061人 H19 5,200人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	会場の定員の都合で、つどい当日に住民登録のある新成人のみの入場に限定したが、以前杉並区に居住していた新成人から、出席を望む声があった。				
	今後の予測	成人式のあり方が全国的に問題となっている。同窓会のような雰囲気を求める新成人の声と厳粛なセレモニーとの調和をどう図るかが課題となっていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 社会の一員としての自覚を持った青少年が増加することは、子どもの育成環境をよりよくすることにつながる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 会場の定員に限りがあるため。また、式への参加は任意であるため。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 新成人を祝い励ますという事業の性質上受益者負担はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 記念品の配布を止めるなど、既に経費の削減を図っており、つどいを実施するための最低限の費用であるため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 具体的内容: 式典の運営、イベントの実施、警備の委託				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 ▼)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 参加者全員が、会場のホール内で式典に参加できるよう、平成19年度から、地域別の3回公演を実施する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 3回公演となるため、短時間で参加者の入退場の入れ替えの案内をする必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 3回公演となるため、アトラクションの実施回数、警備委託の時間数が増加するため。(19年度の予算は2回公演の前提で予算措置がされている。)		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年育成委員会助成						整理番号	374	枝番号							
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092713	連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	386	昨年度枝番号							
係名		青少年係		上位施策名				No									
予算事業名		青少年育成		コード	39550	子どもの育成環境の整備				28							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		31年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 青少年育成委員会(17団体)				根拠法令等		(1) 杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各青少年育成委員会からの申請を審査し、事業費の一部として予算の定める範囲内で補助金を交付する。また、各青少年育成委員会及び杉並区青少年育成委員会会長連合会に対し、事業についての相談、連絡調整等、活動の側面的な支援を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		・育成委員会が行う事業を通して子ども達が健やかに育つ環境をつくる。								
	活動指標名(式)		(1) 委員数 (2) 青少年育成委員会の事業参加者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)区内非行数 (2)								
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
指標	活動指標(1)		人	895		934		934		907		907					
	活動指標(2)		人	126,431				128,479		111,078							
	成果指標(1)		人	411				366		345		307	291				
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,956		15,911		15,920		16,216		16,552		16,004		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円	0		0		0		0		0		0			
	(内) 委託費		千円	0		0		0		0		0		0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.50	0.10	0.47	0.00	0.40	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,370		6,342		6,342		4,530		4,258		3,624		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		283		0		0		
	総事業費 + +		千円	22,326		22,253		22,262		21,029		20,810		19,628			
	単位あたりコスト(-)÷		円	24,945		23,825		23,835		23,185		22,944		21,641			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		0		
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0				
差引: 一般財源 -		千円	22,326		22,253		22,262		21,029		20,810		19,628				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)							
		青少年育成委員会助成						17	団体	15,300							
		その他 (研修会の実施、会長会の開催)								1,252							

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 374 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	102.1
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		青少年育成委員会委員向けに、子どもの理解に関する研修を2回実施した。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	青少年人口(0~29歳) H10 182,122人 H13 173,159人 H15 168,158人 H18 157,643人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)					
	今後の予測	有害な情報の氾濫や青少年が凶悪な犯罪に巻き込まれる事件の発生など、青少年を取り巻く環境は悪化している。子ども達が安全に健やかに育つ環境づくりを進めていくために、地域社会の総力を結集した青少年育成委員会が地域で果たす役割がより一層重要となる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:各青少年育成委員会の事業には多くの参加者があり、子どもが様々な体験をし、社会性を身につける機会になっている。また、環境パトロールなど子どもたちが安全に育つ環境づくりを進めている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:これまで以上に地域や子どものニーズに的確に対応した事業内容になるよう働きかける。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:育成委員会の活動はボランティアであり、受益者負担はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:補助金のみを財源として運営するのではなく、参加費を取るなど参加者に応分の負担を求めたり、自主財源の確保に努めるよう働きかける。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 各青少年育成委員会の事業がこれまで以上に地域のニーズに的確に対応したものになるような研修を実施していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入
各青少年育成委員会の事業がこれまで以上に地域のニーズに的確に対応したものになるような研修を実施していく。

(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
青少年育成委員会は自主的の団体であり、それぞれの地域ごとに特徴を持っているため、一括対応が難しい。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ボーイスカウト・ガールスカウト共催分担金				整理番号	375	枝番号									
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092713	連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	388	昨年度枝番号							
係名					青少年係			上位施策名		No							
予算事業名					青少年育成			コード		39550	子どもの育成環境の整備	28					
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野				政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業				<input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等				(1) 杉並区後援名義等使用承認事務取り扱い要領							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			ボーイスカウト・ガールスカウトが区内で行っている青少年健全育成事業を共催し、予算の範囲内で分担金を支出する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				ボーイスカウト、ガールスカウトが行う事業を通し地域で青少年が健全に育つ							
	活動指標名(式)			(1) 事業開催数 (2) 参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) (代)区内非行数 (2)							
指標	区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
	活動指標(1)		回	3		3		3		4		4	3				
	活動指標(2)		人	346		400		355		480		347					
	成果指標(1)		人	411				366		345		307	291				
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	315		315		315		635		635	335	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円	0		0		0		0		0	0				
	(内) 委託費		千円	0		0		0		0		0	0				
	職員数 (常勤 非常勤)		人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.05	0.10	0.05	0.10	0.06	0.00	0.05	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	910		906		453		453		544	453			
		非常勤職員分		千円	0		0		289		283		0	0			
	総事業費 ++		千円	1,225		1,221		1,057		1,371		1,179	788				
	単位あたりコスト(-)÷		円	408,333		407,000		352,333		342,750		294,750	262,667				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0	0			
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0	0			
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0	0					
差引: 一般財源 -		千円	1,225		1,221		1,057		1,371		1,179	788					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容						規模	単位	事業費(千円)						
			ボーイスカウト共催事業						3	回	575						
			ガールスカウト共催事業						1	回	60						
			その他 ()								0						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 375 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	72.3	18年度予算 執行率%	100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成14年度より学校五日制が実施され、青少年の活動の場としての役割が大きくなっている。また、青少年の学校内外におけるボランティア活動などが、豊かな人間性、社会性を養うため必要であるとの認識が高まっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	地域社会との接触が希薄になりがちな現代の青少年にとって、奉仕活動や、積極的に社会への参加を促すような青少年健全育成事業の必要性は高まっていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:事業の趣旨が、子どもたちが、楽しく学び、思いやりの心とたくましく生きる力をはぐむことができるように、また地域の一員として健全成長、発達していくことであるため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:より多くの子どもが参加できるよう事業の広報などを工夫する					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:事業を共催で行っており、既に応分の負担をしている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:事業を行うための最低限の金額である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業の周知方法などを工夫し、より多くの子ども達が参加するようにしていく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年の社会参加・参画の推進						整理番号	376	枝番号		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092713	連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	389	昨年度枝番号		
係名				青少年係				上位施策名		No		
予算事業名				青少年育成		コード	39550	子どもの育成環境の整備		28		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		14年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 中学1年生から18歳までの青少年		(1) コースプロジェクトすぎなみ設置要綱		(2)		(3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		青少年の主体性や社会性を育み、社会参加の促進を図るとともに、区の青少年施策について意見を述べる。また、青少年の社会参画促進事業・自主企画事業を実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		青少年が自身の力を発揮し、健やかに成長する。					
	活動指標名(式)		(1) 自主企画等事業数 (2) 委員会開催回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)区内非行数 (2)					
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		回	4	3	3	3	2	2			
	活動指標(2)		回	16	24	30	24	26	24			
	成果指標(1)		人	411		366	345	307	291			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	974	957	985	998	895	1,761	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	480			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.60 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00	0.45 0.10	0.59 0.00	0.45 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,460	5,436	5,436	4,077	5,345	4,077		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	283	0	0		
	総事業費 ++		千円	6,434	6,393	6,421	5,358	6,240	5,838			
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,608,500	2,131,000	2,140,333	1,786,000	3,120,000	2,919,000			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	6,434	6,393	6,421	5,358	6,240	5,838				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		広報誌「にゅーす」の発行						1	回	266		
		その他 (会議運営費等)								629		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 376 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	66.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	108.3	18年度予算 執行率%	89.7
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		委員自らが会議を進め、積極的に区の青少年施策に対して意見を述べる事ができるよう、分科会方式で検討をするなど、工夫をして事業を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	委員数の推移 H14 17人 H15 20人 H16 27人 H17 28人 H18 27人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	青少年が自主性、自立性、社会性などを高め、健やかに育つためには、子どもの頃からの社会とのつながりづくりが大切なことから、社会参加参画の機会の提供はますます重要になっていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 中高生が区の青少年施策に意見を述べるなど、子ども自身が子どもの育つ環境をよりよくすることなどについて考えている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: ユースプロジェクトすぎなみを実施する事業により多くの委員以外の子どもの参加を図るなど、子どもの社会参加参画を全区的に広げていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の性質上、受益者負担はなじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最小限のコストで運営しているため。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 ユースプロジェクトすぎなみの自主事業などに、子ども分野を専門とするNPO等に所属する専門家に助言をもらったり、進行をお願いしたりしている。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・平成19年度に、委員自らが会議を進め、積極的に区の青少年施策に対して意見を述べたり、事業を企画・実行できるよう、会議の進め方(ファシリテート、プレゼンテーション)等を学ぶ研修を実施する。 ・より多くの子どもたちが、ユースプロジェクトすぎなみの活動や企画する事業に参加するよう、ユースプロジェクトすぎなみが自ら地域に出向く方式の事業を実施していく(平成19年度)。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事業等の周知が区内の学校や児童館などにチラシを配付する方法を行っているため、区外の私立学校に通学している子どもたちなどに情報が届かない。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年の自立支援				整理番号	377	枝番号		
担当部課名	保健福祉部児童青少年課	コード	092713	連絡先 電話番号	4402	昨年度 整理番号	390	昨年度 枝番号		
係名	青少年係	上位施策名			No					
予算事業名	青少年育成	コード	39550	子どもの育成環境の整備			28			
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		17年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 杉並区子ども・子育て行動計画 (2) 杉並区読書活動推進計画 (3)						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住・在学・在勤の中学生から24歳までの青少年		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 青少年が自立し、社会の一員としての自覚を持ち、自身の力を発揮し社会で活躍する。						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	24歳までの青少年を対象にした、自立を支援する講座等を開催する。また、当事者である青少年の声を取り入れた自己肯定感の大切さを伝える冊子を中学2年生に配付する。		活動指標名(式) (1) 事業開催数 (2) 冊子配布数						
	活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)区内非行数 (2)						
指標	活動指標(1)	回		5	4	5	8	8		
	活動指標(2)	冊		7,000	3,500	4,000	5,500	5,000		
	成果指標(1)	人			366		306	291		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円		819	856	7,426	9,018	8,201	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円		0	0	0	0	0		
	(内) 委託費	千円				4,959	6,609	4,950		
	職員数(常勤 非常勤)	人				0.05 0.10	0.60 0.20	0.83 0.00	0.70 0.50	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	453	5,436	7,520	6,342	
		非常勤職員分	千円	0	0	289	566	0	1,415	
	総事業費 + +	千円	0	819	1,598	13,428	16,538	15,958	18年度は、教育委員会社会教育スポーツ課から青少年情報誌の事業が移管されたことや、ニート・フリーター対策の新規事業の開始、キッズホームページ運営の所管事業の変更(子ども子育てまちづくりの推進 青少年育成)及び同システムの改編のための委託料の計上など、事業費、職員数が大幅増となった。19年度は区ホームページ子ども向けページのモバイル版の改訂を単年度の事業として実施する予定である。	
	単位あたりコスト(-)÷	円		163,800	399,500	2,685,600	2,067,250	1,994,750		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0		0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	0	819	1,598	13,428	16,538	15,958		
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)				
	キッズホームページ改編委託経費		1	回	3,890					
	青少年情報誌セドル6号の編集委員会運営・印刷		1	版	1,937					
	キッズホームページ運営(児童情報活用指導員報酬等)		1	人	1,219					
	ジョブ・スタート支援講座(仕事や将来について考える講座)		3	講座	858					
その他 (自己肯定感の大切さを伝える冊子の印刷、絵本づくり講座等)				1,114						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 377 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	160.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	137.5	18年度予算 執行率%	121.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		事業等の周知を図るため、区内の学校や児童館などにチラシを配付するほか、区外の私立学校などに通学している子どもたちなどに情報が届くよう、区公式ホームページの子ども向けホームページを改編し、青少年向事業の情報がわかりやすく掲載されるようにした。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	ニート、フリーターの増加が社会問題となっている。 若年無業者数(15～34歳の非労働力人口) H14 国勢調査 東京都約88,000人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	ニート、フリーターの増加は、経済活動や年金など社会保障制度に影響を及ぼすほか、未婚化、晩婚化、少子化などを一層促進する恐れがあることから、若者の自立支援の必要性がより高まっていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 青少年が自立を促すことは、子どもの健やかな成長につながることであるため					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 多くの青少年が事業に参加できるよう、周知方法を工夫する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 経済的な理由で参加ができないなどの青少年をつくらないようにするため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 委託費用の内訳は、講師謝礼等の最低限の費用である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 講座の実施や、情報誌の編集などを委託で実施している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より多くの青少年が事業に参加できるよう周知を図るため、平成19年度中に区公式ホームページの子ども向けページのモバイル版の改編をし、携帯電話からも情報を取得しやすいようにしていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事業への参加を促したい不登校や引きこもりなどの状態にある青少年の参加は難しい。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 19年度はモバイル版の改編のための予算が単年度でついているため。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎなみしあわせ文庫の普及						整理番号	378		枝番号			
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092317		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	391		昨年度枝番号	
係名				青少年係				上位施策名			No			
予算事業名				青少年育成		コード	39550		子どもの育成環境の整備			28		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		17年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード						
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内の子どもの保護者				根拠法令等 (1) 杉並区子ども・子育て行動計画 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			人間性を高めるための規範教育の大切さや、自分と同様に他者も大切であることなどを学ぶことを目的とした杉並しあわせ文庫を、学校へ配布したり、朗読会を開催したりするなどし普及する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 次代を担う子どもが、社会性を育み健やかに成長する						
	活動指標名(式)			(1) 配付数(作成数)		(2) 朗読会開催数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)非行数 (2)						
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		冊		3,500	5,000	1,500	3,700	0					
	活動指標(2)		回		1	2	2	5	2					
	成果指標(1)		人	411		366	345	307	291					
成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円		20,545	20,422	7,026	2,643	500	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 1、2巻の普及に積極的に取り組むため、平成18年度は3巻の編纂を行わなかった。このため事業費の実績が予定より少ない結果となった。				
	(内) 投資的経費等		千円		0	0	0	0	0					
	(内) 委託費		千円				4,188	691	400					
	職員数(常勤 非常勤)		人		0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.10	0.10 0.00	0.05 0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	1,812	1,812	1,812	906	453				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	283	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	22,357	22,234	9,121	3,549	953					
	単位あたりコスト(-)÷		円		6,388	4,447	6,081	959						
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0	0	0				
		国・都等からの支出金		千円		0	0	0	0	0				
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	0	22,357	22,234	9,121	3,549	953						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			第2巻印刷					3,700	冊	1,881				
			すぎなみしあわせ文庫第1巻「ココロマメ」アニメ複製作成委託					1	回	371				
			朗読会の開催					5	回	320				
			その他 (チラシの作成等)							71				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 378 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	246.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	250.0	18年度予算 執行率%	37.6
		第3巻の編纂を行わなかったため、予算の執行率が低い結果となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	近年、家庭や地域の教育力の低下が懸念されており、規範教育の重要性が高まっていくものと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 子ども自身やその保護者が社会規範の大切さや、自分と同様に他者も大切であることなどを学ぶことは、子どもの育つ環境をよりよいものにつなげていく。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 朗読会やアニメの上映会などにより多くの子どもとその保護者の参加を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: すぎなみしあわせ文庫は区政資料室で第1巻700円第2巻500円で販売している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 朗読会を地域の子育て支援団体などに呼びかけて自主的に実施してもらう。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より多くの子どもとその保護者が参加するよう、朗読会の開催方法や周知方法を工夫していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター・児童館施設維持管理及び運営				整理番号	429	枝番号				
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092701	連絡先 電話番号	4402	昨年度 整理番号	443	昨年度 枝番号		
係名					管理係		上位施策名		No			
予算事業名					児童館等運営 児童館等維持管理コード		43150 44050		子どもの育成環境の整備		28	
事務事業の概要	事業開始年度			● 昭和 ○ 平成		41 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 _____ 政策番号 (2) 施策番号 _____ 事業コード _____ <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 児童青少年センター・児童館・学童クラブ、18歳未満の児童及び保護者、センター及び児童館職員、地域住民の団体		(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 施設運営における事務用経費の執行事務 センター及び児童館職員の研修、物品貸し出し、事故対応		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・適切な維持管理等により安全かつ快適に利用できる施設とする。 ・運営に中高生の意見等を反映させる。 ・センター及び児童館職員の資質を向上させる。						
	活動指標名(式)			(1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館) (2) 開館日数(センター及び児童館)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 一日あたり平均利用者数 = 利用者数 ÷ 開館日数 (2) 年間修繕件数(センター及び児童館)						
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		人	1,331,694	1,398,418	1,352,409	1,400,000	1,421,329	1,430,000	1,430,000	99.4	
	活動指標(2)		日	13,808	16,189	13,501	16,189	13,822	13,917	13,917	99.3	
	成果指標(1)		人	96	86	100	100	103	105	105	98.1	
	成果指標(2)		件	280	230	197	230	561	490	343	163.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	450,602	490,212	480,821	529,963	503,630	572,555	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	149,349	156,096	142,311	145,136	142,291	146,163			
	職員数(常勤 非常勤)		人	103.50 33.60	100.00 33.60	107.40 40.80	104.70 38.80	98.80 40.80	97.28 37.74			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	941,850	906,000	973,044	948,582	895,128	881,357		
		非常勤職員分		千円	96,768	97,104	117,912	109,804	115,464	106,804		
	総事業費 ++		千円	1,489,220	1,493,316	1,571,777	1,588,349	1,514,222	1,560,716			
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,118	1,068	1,162	1,135	1,065	1,091			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	1,489,220	1,493,316	1,571,777	1,588,349	1,514,222	1,560,716				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			パートタイマー報酬				102	人	177,289			
			施設管理費(委託)				49	施設	142,291			
			臨時職員賃金				690	人	26,134			
			施設修繕費				49	施設	37,015			
			その他 ()						120,901			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 429 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	101.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	85.4	18年度予算 執行率%	95.0
		設備保守管理契約落札差金及び実績による残が発生した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		障害児、乳幼児親子の利用しやすい環境整備を目標とし、空調機を設置(18年度:4館、19年度(予定):5館)するとともに各室の整備を行った。20年度以降も計画的に設置、整備していく予定である。 また、学童クラブの登録制への移行に対応するため、各室の育成室への転用が行われており、こちらの施設整備も急務である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せが相次いでおり、各方面から注目されている。児童館は設置から30年以上経過しているものもあり、外壁の汚れ、屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁の剥離、設備面では排水管の詰まりによる悪臭、冷房設備の不足といった不具合が生じており、それらに対する苦情・指摘等を受けている。また、障害児の利用しやすい環境整備も求められている。					
	今後の予測	センターの施設管理費は、経年劣化に伴い、通常の施設管理費に加えて修繕費が増える。運営についても中高生の安全な居場所確保の重要性は増す。また、児童館は順次古い館からの建替え若しくは大規模修繕が必要である。更に、多様化する区民ニーズに対応できる環境整備が必要である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要である。また中高生の居場所、活動拠点が求められる中、センター・児童館の存在価値は高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 施設、設備の老朽化により多くの箇所で大規模修繕が必要である。					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 設置から30年以上たっている施設もあり、障害児や乳幼児親子への対応など、利用者のニーズにあった施設の建替えや改修が必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由: 目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、その目的からも受益者負担は不適切である。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 施設の老朽化に伴い維持件費がかかってきている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 清掃業務や機械設備委託等で施設維持管理を行っている					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 児童館はもともと障害児・乳幼児親子のための施設づくりがなされていないため、今後既成の施設の中で整備を進める形となる。施設全体が狭く、老朽化する中での整備であるため使用が少ない部屋を積極的に他室と兼用し、空いた部屋を効率的・計画的に改修する必要がある。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設の改修が比較的大規模になるため、予算措置・児童館の休館(学童クラブの代替施設探し)・部屋の兼用が難しく拡張ができない等の問題がある。早期に個別の館ごとに、施設のあり方についてさまざまな観点から詳細に検討し実行していく必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 施設の老朽化に伴い、維持経費が増える傾向にある。また、学童クラブの登録制や乳幼児親子、障害児の利用しやすい施設整備に伴い、育成室の拡張や空調機の設置が必要となってきた。そのため、建替えを含めた長期的な計画が必要となる。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター事業(中高生事業)						整理番号	431	枝番号	
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092709	連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	445	昨年度枝番号	
係名		事業係		上位施策名				No			
予算事業名		児童健全育成事業		コード	43550	子どもの育成環境の整備				28	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法第1~4,7,35及び40条 (2) 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		中高生の自由な居場所としての環境を整え、多様な分野における自主的・主体的な活動を支援する。		中高生が、自由な居場所として施設を利用しながら、仲間との交流や自主企画事業の実施を通じて、自主性・社会性を身につけ自己実現を図る。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
	活動指標名(式)		(1) 講座・講演会開催回数及び自主企画実施回数 (2) 自主企画スタッフ数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 講座・講演会参加者数及び自主企画参加者数 (2) 自主企画スタッフ数÷自主企画事業数						
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	回	460	450	507	500	414	450	450	92.0	
	活動指標(2)	人	630	600	1,180	1,200	1,491	1,400	1,400	106.5	
	成果指標(1)	人	5,142	5,000	4,810	4,800	5,347	4,800	4,800	111.4	
	成果指標(2)	人	11	12	12	12	13	12	12	107.1	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,844	5,762	5,164	6,062	5,297	6,365	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0		
	(内) 委託費		千円	408		397	552	1,208	663		
	職員数(常勤 非常勤)		人	11.00 8.00	11.00 7.00	11.40 9.90	11.10 9.20	11.10 9.20	11.10 9.20		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	100,100	99,660	103,284	100,566	100,566	100,566		
		非常勤職員分	千円	23,040	20,230	28,611	26,036	26,036	26,036		
	総事業費 ++		千円	127,984	125,652	137,059	132,664	131,899	132,967		
	単位あたりコスト(-)÷		円	278,226	279,227	270,333	265,328	318,597	295,482		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	127,984	125,652	137,059	132,664	131,899	132,967			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		音楽・映像系事業							1,338		
		体育・工芸・調理系事業							844		
		ホール・ロビー系事業							817		
		オールラウンド系事業(国際交流、ボランティア他)							384		
		その他 ()							1,914		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 431 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	82.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	124.3	18年度予算 執行率%	87.4
	講習会、講座等の既存事業を精査し、利用者ニーズの低いものを取りやめるなど、スクラップに努め、自主企画の育成にさらに努めた。その結果、自主企画事業は増加し、かかわるスタッフ数も大幅に増加した。成果指標(2)の自主企画1回当たりのスタッフ数13人は、中高生の活動としては決して少なくない					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	自主企画事業への支援に取り組んだ結果、各事業の企画運営にかかわるスタッフ数は大幅に増加し、成果が現れた。
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成9年9月開設以来8年間、小学生や幼児親子等を含めた年間利用者総数は6.1~6.7万人前後で推移している。中学生・高校生について見ると、少子化により8年間で約4千人強の人口減が見られるなか、年間平均約4.5~5万人の利用者数を維持している。18年度は、17年度と比較して中高生の利用が、2千人程度減少した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	中高生から次のような意見が寄せられている。「あまり干渉されずに自由に過ごしたり、音楽、スポーツ、ダンスなど好きな活動に打ち込める」「講座の内容もリクエストに答えてくれて、アカペラやボイストレーニングなど新しいものを取り入れてくれるのがうれしい」「グループや中高生委員会等で考えた自主企画が実現でき、手ごたえを感じる」「プロのプレイヤーにバスケットを教わる自主企画など、ゆう杉だから実現できた」
	今後の予測	中高生にとっての自由な居場所、活動の拠点としての役割は、今後も増していくものと思われる。とりわけ、自主グループの育成や自主企画支援の強化が求められる。また、不登校やひきこもり等の個別課題を抱えた対象者へのケアについて、多様な中・高校生の受け入れが可能な数少ない社会的施設として、その期待が高まるものと予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 中・高校生の居場所として利用は活発化し、18年度の数値に表れているとおり自主的活動の充実も見られ、子どもの育成環境整備への貢献度は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 中高生の自主活動へのかかわりをさらに促進するため、事業の内容をさらに工夫し、新しい手法を検討する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 子どもの健全育成をめざす児童厚生施設としては、現在行っている材料費等実費徴収が妥当なところと考える。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 自主企画実現支援に力点を移し、従来の講座・講習の見直しを引き続きすすめながら、新分野の取り組みにも取り組む。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 ボランティアや外部講師の導入により運営している事業多数あり。一部プログラムに事業委託を導入した。
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 自主活動推進の指標のひとつである登録グループの増加に取り組み、団体利用のさらなる活発化を図る。 自主企画実現支援の姿勢を継続する。 中・高校生運営委員会への支援を強化し、自立的な会運営のための力量をあげるとともに、施設運営への意見表明や参画の取り組みを充実させる。 中・高校生の現状を捉え、課題やテーマに応じた啓発事業の充実引き続き努める。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	中高生の自主企画実現支援に継続的に取り組み、従来の講座・講習の見直しをさらにすすめる一方、不登校児対応、日常的な相談活動及び進路選択・職業体験支援事業等、新分野の取り組みをさらに推進する。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域中・高校生事業					整理番号	432	枝番号							
担当部課名		保健福祉部 児童青少年課		コード	092705	連絡先 電話番号	4402	昨年度 整理番号	446	昨年度 枝番号						
係名		児童館運営係					上位施策名		No							
予算事業名		児童健全育成事業		コード	43550	子どもの育成環境の整備		28								
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード									
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 児童福祉法 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区地域中・高校生委員会設置要領									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		中・高校生の地域における居場所づくり、意見表明、社会参画の実現を目的とした地域中・高校生委員会を7か所の児童館に設置し、委員によるより使いやすい児童館のあり方の検討、自主企画、児童館と地域団体の共催事業への参画等を実施するとともに、委員会の要望に基づく運営の改善や中・高校生対象の事業に取り組む。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		中・高校生が児童館を居場所や自主活動の拠点として活発に利用するとともに、意見表明や社会参画に意欲的に取り組み、自主性や社会性を高める。							
	活動指標名(式)		(1) 委員会延べ参加者数 (2) 委員会自主企画及び中・高校生対象事業実施回数(全児童館)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 自主企画及び中・高校生対象事業参加者数(全児童館) (2) 中・高校生児童館利用者数(全児童館)							
区分		単位	16年度 実績		17年度 計画 実績		18年度 計画 実績		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
指標	活動指標(1)			891		700		664		700	426	550	700	60.9		
	活動指標(2)			1,190		1,130		1,251		1,200	1,381	1,200	1,200	115.1		
	成果指標(1)			8,862		8,000		8,277		8,000	4,685	5,000	8,000	58.6		
	成果指標(2)			48,934		48,000		43,370		44,000	37,527	40,000	44,000	85.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	544		1,462		156		1,429	858	1,386	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円													
	(内) 委託費		千円													
	職員数(常勤 非常勤)		人	5.80	1.00	5.80	1.00	6.00	1.20	5.90	1.20	5.60	1.20	5.50	1.10	活動指標(2) - 事業実施回数が増えているにもかかわらず、成果指標(1) - 事業参加者数が大きく減っている理由は、一部の児童館での統計のとり方が変化(おまつりなどの中高生以外の参加者が多数ある事業を対象外とした)したことが影響している。今後、統計の取り方及び目標値について精査する必要がある。
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	52,780		52,548		54,360		53,454	50,736	49,830				
		非常勤職員分	千円	2,880		2,890		3,468		3,396	3,396	3,113				
	総事業費 + +		千円	56,204		56,900		57,984		58,279	54,990	54,329				
	単位あたりコスト(-) ÷		円	63,080		81,286		87,325		83,256	129,085	98,780				
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円	0		0		0		0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	56,204		56,900		57,984		58,279	54,990	54,329					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み		内 容								規模	単位	事業費(千円)				
		中・高校生むけ事業								1,381	回	818				
		地域中・高校生委員会(7地域)運営								75	回	40				
		その他 ()										0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 432 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	60.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	115.1	18年度予算 執行率%	60.0
----------------------------	----------------------	------	----------------------	-------	----------------	------

前年度の改革案の取り組み状況
(19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	地域中・高校生委員会事業の開始から5年が経過した。委員会ごとに、委員の増減、新規委員の有無、活動内容の活性化または硬直化など変化はあるが、概ね活動は安定している。しかし7か所全体で見ると、委員数及び活動状況の量的な低下が見られる。また、児童館全体の中高生の利用者も減っているが、学童クラブ児童の大幅な増加によって、中高生の利用しにくい状況が生まれている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	青少年委員が協力員として活動に関わっているが、事業への評価は高い。地域の方達からも、ボランティア的な活動等に感謝の言葉やまたやって欲しい等の声が寄せられている。
	今後の予測	中・高校生の育成や社会参画についての関心は高く、中・高校生自身の要望にこたえながら、居場所づくりや自主活動、地域の中での活躍の機会等を広げていくことが求められている。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 中・高校生の意見表明や社会参画、自主活動を促進するとともに、活動を通して自主性、社会性を育成することになる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 7か所それぞれに特徴のある活動を行っているが、委員数や活動量は委員会によって成果の差がある。少ないところで委員や活動を増やす働きかけや支援を強めることで、成果を向上させることができる。 理由または具体的内容: 中・高校生へのはたらきかけにより委員数を増やし、委員の意見や発案を尊重しながら、より適切で活気ある活動内容となるよう支援する。小学6年生に向けても委員会のことの広報を強める。また、委嘱の時期を早め、夏休み前に本格的な活動が出来るようにする。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 対象が中・高校生であり、目的や活動内容からも受益者負担は不適切である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 中・高校生向けの設備や事業を整備していく上での一定の予算措置が今後も必要である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 地域の青少年委員が委員会活動を事務局協力員として支援してくれたり、地域のまつりの場で中・高校生委員会の企画を実施したりするなど協力関係が広がっている。中・高校生の活動を、地域の区民やグループが支えていく方向で、協働をすすめていく必要がある。
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 これまでの活動を踏まえ、委員会の存在がより多くの同世代や地域の人々に認められるような活動の支援を行っていく。また、中高生委員会にふさわしいやり方で、地域社会に参画する方法をそれぞれの事務局で検討し、具体化していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 既存の児童館の整備範囲では、スペースや設備の点で限界がある。中・高校生専用の利用時間帯や部屋の整備等を既存の児童館運営の中で工夫していくことが必要であるが、より根本的には専用の活動拠点のあり方を検討していく必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 児童館等のあり方検討会作業部会報告に基づき、地域児童館に中・高校生委員会活動のためのパソコンを設置するなど、活動環境を整えるための予算措置を行う。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館事業						整理番号	435	枝番号		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092701	連絡先 電話番号	4402	昨年度 整理番号	449	昨年度 枝番号		
係名				管理係				上位施策名		No		
予算事業名				児童健全育成事業 地域子育て推		コード	43550 43750	子どもの育成環境の整備		28		
事務事業の概要	事業開始年度			● 昭和 ○ 平成		41 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 18歳未満の児童及び保護者		根拠法令等 (1) 児童福祉法第1～7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 (3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規程						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			自由利用、定例活動(工作・調理等)、小型特別行事(スポーツ大会・遠足・講演会等)、大型特別行事(まつり・キャンプ等)、子育てネットワーク事業(地域連携・シンポジウム等)、ゆうキッズ事業等による子育て支援活動		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 児童館事業を通じて、児童の自主性・創造性が培われ、健やかに成長する。また、保護者が安心して子育てができています。						
	活動指標名(式)			(1) 児童館年間延べ行事実施回数 (2) 児童館年間延べ行事参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 行事参加率(年間行事参加者数 ÷ 年間児童館利用者数) (2)						
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		回	18,213	18,300	19,750	19,750	18,062	19,750	19,750	91.5	
	活動指標(2)		人	488,384	490,500	497,948	500,000	492,928	500,000	500,000	98.6	
	成果指標(1)		%	40	40	40	40	38	40	40	94.3	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	25,485	24,800	25,160	24,674	24,766	24,814	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0							
	(内) 委託費		千円			64	0	115	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	38.00 11.80	40.70 10.80	39.40 14.30	38.40 13.60	36.16 14.93	35.60 13.81			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	345,800	368,742	356,964	347,904	327,610	322,536		
		非常勤職員分		千円	33,984	31,212	41,327	38,488	42,252	39,082		
	総事業費 + +		千円	405,269	424,754	423,451	411,066	394,628	386,432			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	22,252	23,211	21,441	20,813	21,849	19,566			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	405,269	424,754	423,451	411,066	394,628	386,432				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			定例活動(工作、調理等)					7,970	回	2,199		
			大型特別行事(まつり、キャンプ等)					477	回	20,429		
			子育てネットワーク事業(地域連携、シンポジウム等)					1,163	回	2,138		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 435 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	91.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	98.6	18年度予算 執行率%	100.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		児童館等あり方検討会及び作業部会を設置し、これからの児童館の目指すべき方向性を検討・報告した。それに伴い具体化推進委員会を設け実施に向け取り組んでいる。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在):昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 18歳未満児童数(隔年1月1日現在):昭和61年=98,222人、平成2年=84,706人、平成7年=69,662人、平成12年=62,023人、平成18年=59,552人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	子どものニーズに基づく多様なプログラム、ゆうキッズ事業をはじめとする子育て支援事業、いじめ・不登校など子ども自身が抱えている問題に対する相談、中高生事業や調理・スポーツ活動など子ども主体の行事など時代の変化に対応した事業に対し、高い評価を得ている。また、保護者や地域の方々からの要望として、地域における子育て支援の拠点としての充実また、障害児への対応の充実が求められている。					
	今後の予測	問題を抱えている子どものみならず、子育てに困難を感じている親への支援がより必要となる。子育て、子育ての困難への対応、さらには虐待や養育困難家庭への対応が求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:児童の健全育成を目指す児童館事業は、子育て支援、中高生事業等年々充実度を増している。とりわけ地域子育てネットワーク事業の充実によって、子どもと子育てを支える地域社会づくりに貢献できると考える。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:現状の事業費でも、事業内容の工夫によってある程度成果を向上させることができる。 理由または具体的内容:事業内容を精査し、より効果的な内容に改善していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:行事にかかる経費のうち、参加者に利益が還元されるものについては、既に一部受益者負担を導入している。また、児童館行事の参加対象者は小学生が主体であることから、今以上の受益者負担は困難である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容:ニーズは多様化あるいは増大しており、一定の事業費が必要である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	理由または具体的内容:すでに児童館プログラムの一部は、地域の関係者やボランティア、子育て支援グループの協力により実施されている。今後は地域の子どもと子育てを支える力を醸成していく観点から、より地域の区民・NPOの参画を進め、協働で児童館を運営していく方向である。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 放課後の子どもの居場所づくりの再構築 年齢層ごとのニーズや施設の状況に応じた特色ある運営の推進 地域の子育て支援の拠点としての機能強化 協働等の推進とコーディネート機能の強化	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校や地域のさまざまな取り組みとの連携「地域ぐるみで教育立区」 専用スペースの整備や職員のスキルアップ 1小学校区に1児童館がある利点を生かしたネットワーク拠点としての機能強化 児童館を中心とした子育て支援全体の企画運営のほか、子育てコーディネーターとしての役割強化	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 各館の特色ある運営のため、そのサービス対象(乳幼児、障害児、中・高校生)にあわせた施設整備が必要であり、その費用がかかる。NPOの発掘や、職員の研修にも一定の経費が必要である。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ運営						整理番号	438	枝番号				
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		コード	092701	連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	452	昨年度枝番号				
係名		管理係		上位施策名				No						
予算事業名		学童クラブ運営		コード	43350	子どもの育成環境の整備				28				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		39年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(2)	施策番号	事業コード	18
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 親が共働きなどで留守家庭となる区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童及び六年生までの特別支援児童				根拠法令等		(1) 児童福祉法第6条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例 (3) 杉並区学童クラブ事業運営要綱					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区内48学童クラブにおいて共働き等により留守家庭となる児童に日常活動を通じ、集団生活の中で自主性、協調性を促すよう援助指導を行う。また障害児の巡回指導を行う。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		共働き等により留守家庭となる児童に対し、放課後の保育の場を提供することにより、親が安心して働ける環境を整備するとともに、児童の安全確保、知識や経験等を深める機会をつくる。					
	活動指標名(式)		(1) 入会児童数 (2) 入会障害児童数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 入会希望児童の入会率 = 入会児童数 ÷ 入会児童申請数 (2)					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		人	2,423	2,550	2,569	2,596	2,763	2,918	3,389	81.5			
	活動指標(2)		人	75	85	87	94	98	110	142	69.0			
	成果指標(1)		%	97	100	100	100	99.8	100	100	99.8			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,844	26,331	21,574	74,242	68,077	80,886	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	2,065	2,220	6,433	50,171	47,931	52,648					
	職員数(常勤 非常勤)		人	96.00 8.00	91.00 13.00	90.00 14.00	87.00 15.00	87.00 15.00	88.00 7.00	過去5年間学童クラブ 待機児童数(各年4月1 日現在) 平成14年度 22名 平成15年度 30名 平成16年度 28名 平成17年度 0名 平成18年度 4名				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	873,600	824,460	815,400	788,220	788,220	797,280					
		非常勤職員分	千円	23,040	37,570	40,460	42,450	42,450	19,810					
	総事業費 + +		千円	912,484	888,361	877,434	904,912	898,747	897,976					
	単位あたりコスト(-) ÷		円	376,593	348,377	341,547	348,579	325,279	307,737					
	財源	受益者負担分		千円	70,464	84,809	75,821	82,757	81,605			95,018		
		国・都等からの支出金		千円					2,260			2,656		
特定財源計 +		千円	70,464	84,809	75,821	82,757	83,865	97,674						
差引: 一般財源 -		千円	842,020	803,552	801,613	822,155	814,882	800,302						
受益者負担比率 ÷		%	7.7	9.5	8.6	9.1	9.1	10.6						
18年度の主な取組み		内 容						規模	いた	事業費(千円)				
		学童クラブ委託開始						2	所	42,470				
		民間学童クラブ運営助成						1	所	4,040				
		おやつ代助成						851	件	14,957				
		その他 ()												

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 438 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	106.4	活動指標(2)の 18年度達成率%	104.3	18年度予算 執行率%	91.7
	主な執行残 ・学童クラブ運営業務委託料の執行残...約470万円(障害児対象経費の減)					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	学童クラブの需要増への対応について、平成18年12月に出された「児童館等のあり方検討会報告」をふまえ、児童館等のあり方検討会作業部会で検討を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	児童数の減少傾向にも関わらず学童クラブ入会希望者数及び入会者数は、増加傾向にある。このため、第二学童クラブの設置及び施設改修による定員増、学童クラブ登録制の実施、午後6時までの育成時間の延長や学校休業日の午前8時30分からの受入れを実施してきた。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	子どもたちの安全・安心の面から、学校から離れた場所にある学童クラブについては、学校内への移転を求める保護者の声が強し。育成時間について、延長を求める保護者の声が強し。				
	今後の予測	共働き世帯、ひとり親世帯の増加等により、入会児童数は、今後も増加が見込まれる。(22年度には、3,300名を超える見込み)				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、学童クラブへの入会希望者は、年々増加傾向にある。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 児童を安全に育成していくためには、登録児童数に応じた人的措置が必要となる。				
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 登録児童数に見合った人的措置を講じる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: コストに見合った利用料のあり方について検討を行い、適正化を図る。				
(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 学童クラブ運営を段階的にNPOなど民間の運営に委ねる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 平成18年度に委託を開始した新泉・松ノ木小両学童クラブの委託の検証結果では、「一定水準以上のサービスの質が確保され、事業者の創意工夫も生かされている」という評価がなされている。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成19年度の早い時期に、特に需要増の著しいクラブに関して、学校内に第二クラブを設置することも含めた新たな対応策について方針を定める。 児童館等のあり方検討会の報告を踏まえ、平成19年度中に育成時間を延長する。 利用料の適正なあり方について検討を行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校内に新たに学童クラブを設置する場合、専用的に使用できる教室が必要となるが、こうした教室がない学校も存在する。このような学校については、教室の兼用使用について学校と調整する必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 登録児童数に見合った人的措置を講じるとともに、児童館等のあり方検討会報告をふまえ、学童クラブの環境整備を行う。		